

(19)日本国特許庁(JP)

(12)公開特許公報(A)

(11)特許出願公開番号

特開2023-109481  
(P2023-109481A)

(43)公開日

令和5年8月8日(2023.8.8)

(51)Int. Cl.	F I	テーマコード (参考)
C 1 2 Q 1/04 (2006.01)	C 1 2 Q 1/04	2 G 0 4 5
C 1 2 M 1/34 (2006.01)	C 1 2 M 1/34	4 B 0 2 9
G 0 1 N 33/48 (2006.01)	G 0 1 N 33/48	4 B 0 6 3
G 0 1 N 33/50 (2006.01)	G 0 1 N 33/50	4 B 0 6 5
G 0 1 N 33/68 (2006.01)	G 0 1 N 33/68	

審査請求 未請求 請求項の数 14 O L (全 17 頁) 最終頁に続く

(21)出願番号 特願2022-11019(P2022-11019)  
(22)出願日 令和4年1月27日(2022.1.27)

(71)出願人 598015084  
学校法人福岡大学  
福岡県福岡市城南区七隈8丁目19番1号

(71)出願人 510136312  
国立研究開発法人国立成育医療研究センター  
東京都世田谷区大蔵2-10-1

(74)代理人 100145403  
弁理士 山尾 憲人

(74)代理人 100145104  
弁理士 膝館 祥治

(74)代理人 100163902  
弁理士 市川 奈月

最終頁に続く

(54)【発明の名称】 妊娠関連有害事象の発生を予測する方法、予測装置及びコンピュータプログラム

(57)【要約】

【課題】絨毛膜羊膜炎の発症の予測を容易かつ高精度に行う。

【解決手段】予測方法は、対象者の絨毛膜羊膜炎の発症を予測する方法であって、対象者の生体情報として、対象者の試料から得られた少なくとも1以上の細菌の組成情報と、対象者の少なくとも1以上の臨床情報とを取得し、過去に得られた複数の妊婦の生体情報と、当該妊婦の絨毛膜羊膜炎の発症歴との関係を利用して得られた値を用いて、対象者の生体情報で特定される所定のマトリクスを生成し、マトリクスを用いて、対象者の絨毛膜羊膜炎の発症を予測する。

【選択図】図1

